

担い手の経営のライフステージに応じた支援

(10) 農業経営ビジネススクール「大阪アグリアカデミア」

JAバンク大阪（大阪府）

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機 (経緯)	<p>中央会・各連合会が一体となって大阪農業振興サポートセンターを立ち上げ、大阪農業振興のための様々な取り組みを行っています。農業振興の課題の一つ「担い手農業者の確保」があります。</p> <p>担い手農業者（経営体）は、それぞれが創意工夫し、各自のビジネスモデルを確立しています。規模拡大等の農業経営を発展させるためには、更なるスキルの習得や経営能力の向上が必要となります。</p> <p>また、就農（自営）直後の農業者も、将来の大阪農業を担う中軸農業者へと成長していくには、体系的に農業経営を学べる場が必要です。</p> <p>上記を踏まえ、大阪府と共同のプロジェクト「農の成長産業化推進事業」の中心事業として、担い手農業者の育成を目的に、農業経営ビジネススクール「大阪アグリアカデミア」を開講しました。</p>
2 概要	<p>府内若手農業者の経営能力を高め、農業規模拡大を図るための農業経営ビジネススクール「大阪アグリアカデミア」を開講しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開講期間：平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月 <p>本アカデミアは、リーダー養成コース、スタートアップコースの 2 コースから成り、コース 20 名の受講生が、全 12 日間 24 コマのカリキュラムを約半年間をかけて受講しました。</p> <p>カリキュラムは、聴講形式以外に、グループワークや実習、事例研究、成果発表など、講師と受講生並びに受講生間で積極的な意見交換が行われるような形式が多く取り入れられています。</p>
3 成果 (効果)	<p>「農業経営を根本的に見直すきっかけができた」「目標を明確かつ具体的に立てるようになった」等受講生の経営面での意識改善に繋がりました。</p> <p>実際に、「朝のミーティングを開始し、従業員の話しを聞くようになった」「SNS による情報発信を始めた」等具体的行動にも効果が表れています。</p>
4 今後の予定 (課題)	<p>新たに受講生を募集し、講座数を増加させる等内容をより充実させた「大阪アグリアカデミア（第 2 期）」を開催していきます。</p> <p>開講期間平成 29 年 7 月～平成 30 年 3 月</p>

